

2 北陸新幹線（敦賀以西ルート）の費用対効果を踏まえたルート決定と早期整備

（国土交通省）

国土軸の強靱化にとって不可欠であり，その中に日本の精神文化の拠点である京都をしっかりと位置付けることが，人口減少社会の克服や東京一極集中の是正の観点でも極めて重要であることから，次のとおり求めます。

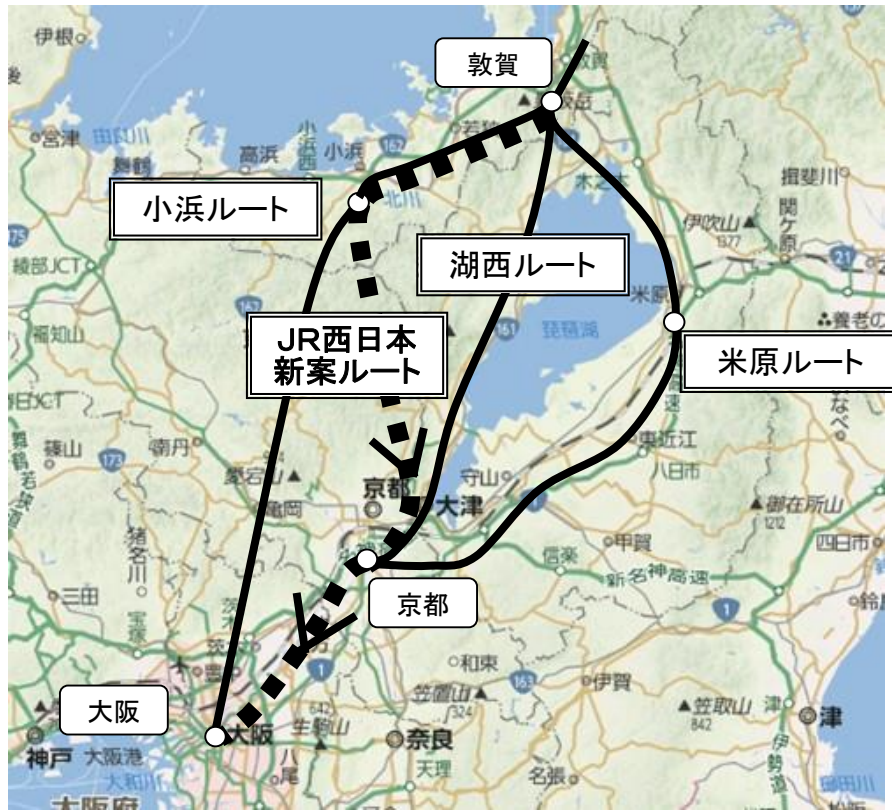
提案・要望事項

北陸新幹線（敦賀以西ルート）の費用対効果を踏まえたルート決定と早期整備

～西日本旅客鉄道で検討中の新案（小浜市から京都市に入るルート）を含めたルート検討～



北陸新幹線（敦賀以西ルート）の費用対効果を踏まえたルート決定と早期整備



- ① 政府与党でプロジェクトチームを設置し、協議が開始された。
- ② 27年8月に、JR西日本により、現状の3ルート以外に、京都駅に接続する小浜ルートの新案が表明されたことを受け、利用者便益や経済波及効果等を改めて検討する必要がある。

敦賀・大阪間の早期整備

- ① 国土の調和ある発展を目指し、関西・西日本の経済の地盤沈下を招かない。

京都駅に接続する小浜ルートの新案の検討

- ① 京都駅の既存の鉄道結節点機能（東海道本線，山陰本線，湖西線，奈良線，近鉄，市営地下鉄）を活用することにより、北陸新幹線の沿線地域と、京都駅を核とした近畿圏との「ネットワーク」が充実する。
- ② これにより、広いエリアで経済活動が活性化し、関西，北陸，ひいては日本全体の発展に貢献することができる。
- ③ 京都を含む各観光地を経由することにより、「観光立国・日本」の実現に向けて大きな推進力となる。